

[研究課題名]

変性認知症症例におけるシルビウス裂の開大特徴についての研究

[研究機関]

大阪回生病院脳神経外科

[研究責任者]

宮崎晃一 大阪回生病院脳神経外科 部長

[研究の目的]

変性認知症によるシルビウス裂開大の特徴と、特発性正常圧水頭症による特徴の差異を知る。

[研究の方法]

電子カルテに記録されている画像データや患者背景、術後前後の症状、リスク因子などを収集する。シルビウス裂の開大特徴について視覚評価と定量評価を行う。既存の臨床データを後方視的に解析する観察研究であるため、患者に負担となる治療や検査を追加して行うことはない。

[対象]

大阪回生病院脳神経外科で2025年1月1日から2027年3月31日までの間に髄液検査結果に裏付けられて診断をうけたアルツハイマー型認知症認知症の全患者のうち研究参加へ拒否がないものを対象とする。

[個人情報の取り扱い]

研究に用いるデータは電子カルテより取り出す際に完全に匿名化する。研究参加者の個人を特定しうる情報は取り扱わない。研究のデータは大阪回生病院医局内で取り扱い院外には持ち出さない。

[問い合わせ先]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-6-10

大阪回生病院 脳神経外科 宮崎晃一

電話 06-6393-6234